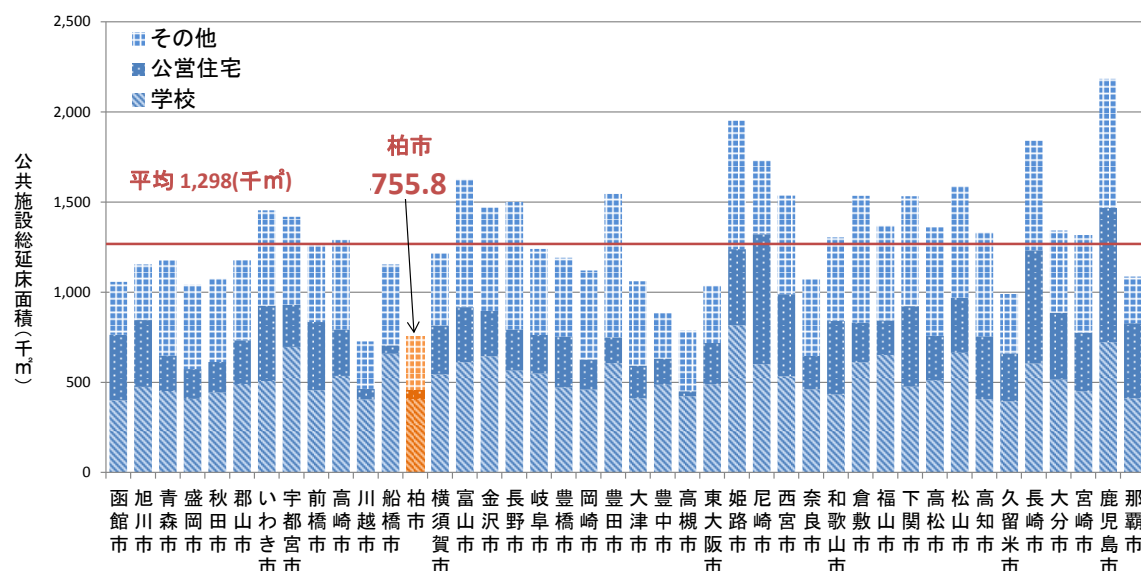


平成 28 年 10 月 5 日 資料 13-5
 柏市行政改革推進委員会

○中核市及び類似団体との比較

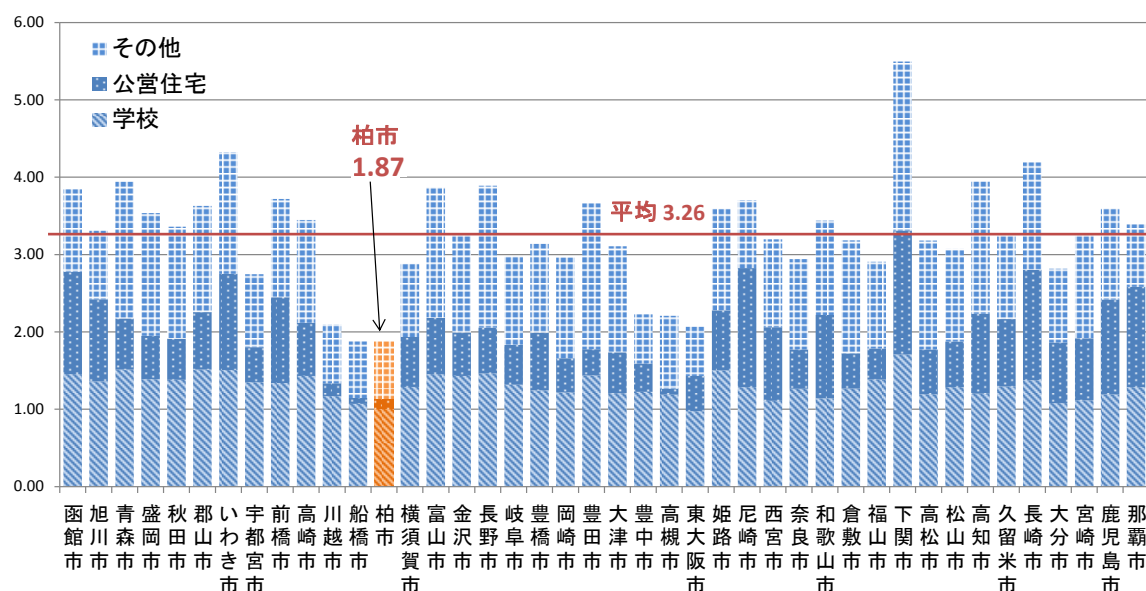
(1) 中核市との保有量比較

柏市の人口一人あたり延床面積は、全国の中核市の平均を下回っており、中核市平均 3.26 $\text{m}^2/\text{人}$ と比較しても低い水準となっています。



出典：公共施設状況調（平成25年度），住民基本台帳人口（平成25年10月1日現在）により作成

図 1 中核市の公共施設総延床面積



出典：公共施設状況調（平成25年度），住民基本台帳人口（平成25年10月1日現在）により作成

図 2 中核市の1人あたり公共施設総延床面積

※分析の時点と出所を他市とそろえるため本市の保有状況も公共施設状況調（平成 25 年度）における用途分類（行政財産保有量）を用いています。

(2) 類似自治体との保有量比較

人口及び面積を用いて、類似市の選定を行います。千葉県・東京都・埼玉県・神奈川県
の1都3県を対象に、柏市の人口が404,074人であることから、人口30～65万人の12自治体
を選定しました。

類似自治体における公共施設総延床面積は（㎡）で、1人あたりの公共施設総延床面積は約
2.05 ㎡/人です。柏市は平均値を下回る水準となっており、効率的な施設配置がなされている
といえます。

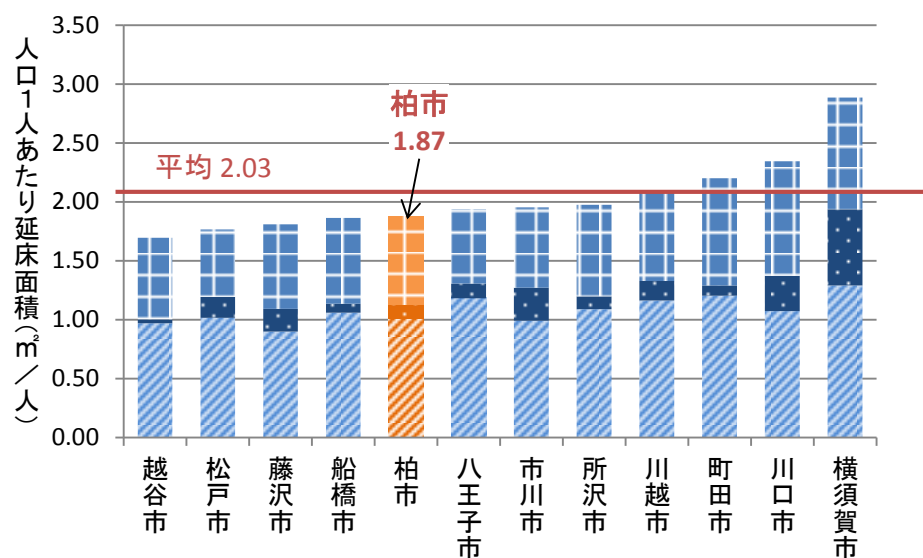


図 3 類似自治体の人口1人あたり延床面積

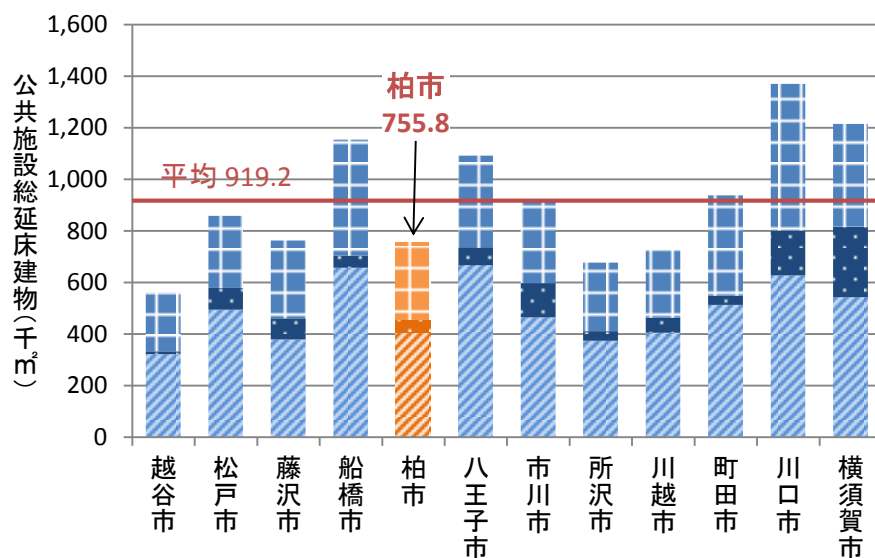


図 4 類似自治体の公共施設総延床面積

(3) 類似自治体との財政状況比較

①財政力指数

財政力指数は、地方公共団体の財政力を示すもので、財政力指数が高いほど財源に余裕がある自治体であると言えます。柏市の財政力指数は、類似市の中では9番目で、平均を下回っています。公共施設の保有水準は他自治体と比較して効率的と判断できませんが、財政の健全性という観点では、財政力指数は0.9以上あり、健全であるといえますが、類似自治体と比較すると、やや低い水準にあることから、積極的なコスト削減に向けた取組が必要な自治体であるとも捉えることができます。

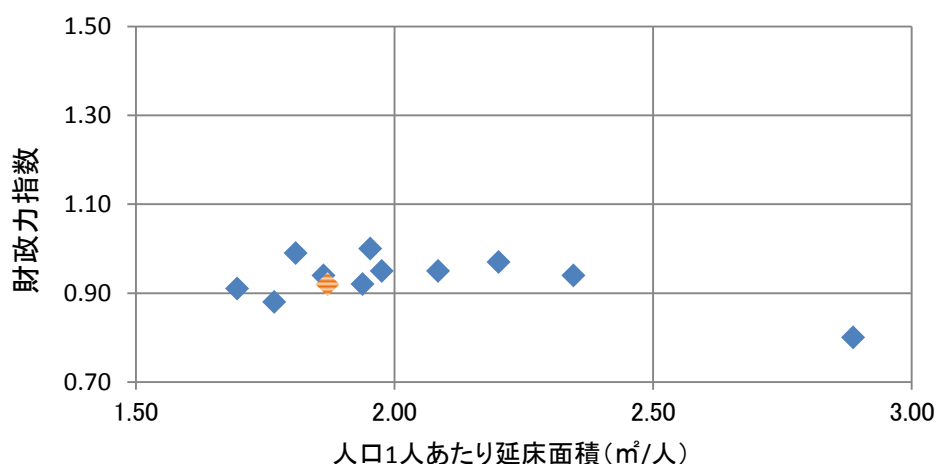


図 5 類似自治体の財政力指数

②経常収支比率

経常収支比率は、使途が指定されていない一般財源のうち、人件費や扶助費、公債費などの毎年経常的に支出される経費が占める割合を示したものです。類似自治体の中では柏市を下回る水準となっている自治体もあり、今後一層の経営努力を図る余地があるとも言えます。

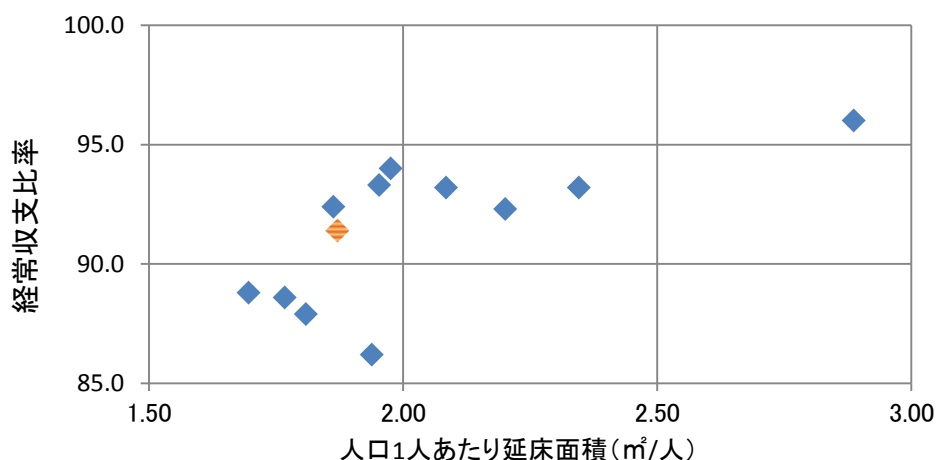


図 6 類似自治体の経常収支比率

③自主財源比率

自主財源比率は、自治体が自らの権能で徴収できる財源である自主財源が歳入に占める割合を示したものです。柏市の自主財源比率は、類似市の中では11番目で、わずかに平均を上回っています。近年、依存財源の割合が増えている傾向があることが明らかとなっていることもあり、この状況を今後も維持・改善していく取組を行うことが望ましいといえます。

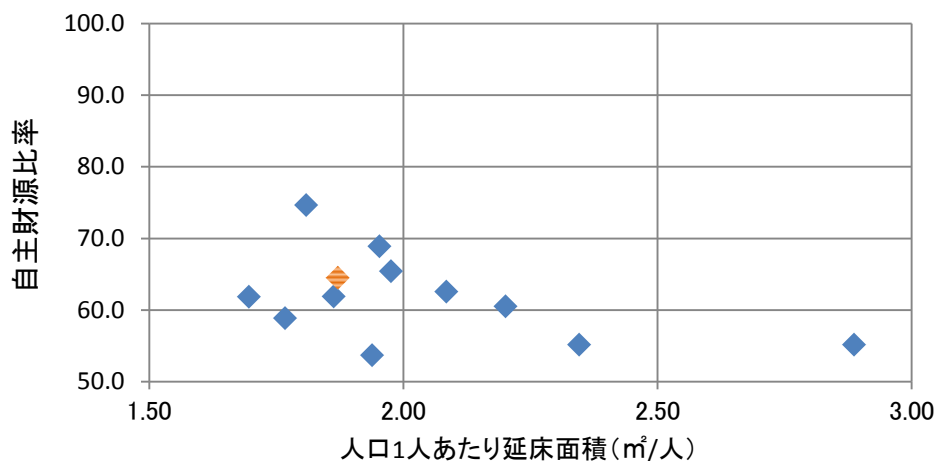


図 7 類似自治体の自主財源比率

(4) 課題

柏市の公共施設の保有量は、中核市及び類似自治体の平均値を下回っています。また、類似自治体と財政状況を比較した結果、人口1人あたり延床面積が少ないほど、経常収支比率が低く、自主財源比率が高い傾向が見られます。

今後は、公共施設の保有量を適正に保ちながら、より一層効率的な公共施設等の管理を進めていく必要があります。